

【記入例】 第一種機関保証

●各自が署名してください。

①奨学金の種類

あなたが貸与を受ける奨学金の種類が印字されています。

- 貸与種別
 - 第一種：無利子
 - 第二種：有利子
- 保証区分
 - 機関保証：保証機関の連帯保証を受ける制度
 - 人的保証：連帯保証人及び保証人の保証を受ける制度

②誓約日

・スカラネットで入力した誓約日です。

③借用金額

- ・現在の貸与月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。
- ・第一種奨学金が供給調整されている場合の借用金額は、申込時の希望月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。ただし、奨学生証に印字されている給付併給による調整後の貸与月額が申込時の希望月額を上回る場合は併給調整後の月額により算出しています。

④奨学生本人

- ・印字内容が正しいことを確認してください。
- ・住所は現在住んでいる住所です。ただし、添付書類欄に「住民票」と印字されている場合は、住民票に記載された住所です。
- ・「採用種別」は、あなたの採用種別が印字されています。

⑤署名

- ・住民票の表記のとおり署名してください（住民票が旧字体の場合は旧字体のまま署名。外国籍の方でアルファベットで表記されている場合はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記されている場合はアルファベットか漢字のどちらかで署名）。

⑥返還の条件(目安)

- ・貸与の条件(予定)で貸与を受けた場合の返還の条件(目安)が印字されています。
- ・返還総額は、本欄の「総支払額」の金額となります。

返 還 誓 約 書

(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)

①【第一種機関保証】

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構奨学金を下記のとおり借用いたします。

つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学金規程その他の諸規程によって確認した事項を遵守し、「奨学生のしおり」記載の取扱いにしたい旨を誓約します。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用情報同意事項」を承認し、同意します。なお、私が借用した学貸貸与金は、第一種奨学金（無利息）であり、機関保証を選択しました。

② 令和 4年 4月 1日

③ 借用金額

¥ 2 4 4 8 0 0 0

④ 奨学生本人

奨学生番号 622-04-000000 CD 7 001 [採用種別] 予約

在学校 日本学生支援大学

住所 〒 135 - 8630
東京都江東区青海 2-2-1

電話番号 03-1111-1111 携帯電話番号 090-0000-0000

氏名 (奨学 太郎) フリガナ ショウガ タロウ

署名 奨学 太郎

平成 15年 11月 11日生 性別 男

貸与の条件(予定)	貸与期間	貸与月数	貸与月額	貸与総計
2022年 4月～	2026年 3月	48月	51000円	2448000円
年 月～	年 月	月	円	円
年 月～	年 月	月	円	円
年 月～	年 月	月	円	円

返還(目安)	返還期日	返還回数	初回割賦金	割賦金	最終割賦金
月賦返還 1	毎月27日	180回	13600円	13600円	13600円
月賦返還 1	月賦返還選択時の総支払い額				2448000円
併用返還 2	月賦分 毎月27日	***回	***円	***円	***円
併用返還 2	半年賦分 毎年1・7月の27日	***回	***円	***円	***円
併用返還 2	併用返還選択時の総支払い額				***円

注：あなたは、所得連動返還方式を選択しているため、毎年の割賦金はその前年のあなたの所得（あなたが被扶養者の場合、扶養者の所得を合算）に応じて決定されます。上記「返還の条件(目安)」に記載の内容は「借用金額」欄記載金額から算出された割賦金であり、あなた等の所得が把握できない場合に適用されます。

【重要】 1. 個人番号の提出がない場合、所得連動返還方式の適用を受けられません。
2. 所得連動返還方式は、所得に応じて割賦金が決定されるため、返還回数は変動します。

返還	返還期日	返還回数	初回割賦金	割賦金	最終割賦金
月賦返還	毎月27日	***回	***円	***円	***円
併用返還	月賦返還選択時の総支払い額				***円
併用返還	月賦分 毎月27日	***回	***円	***円	***円
併用返還	半年賦分 毎年1・7月の27日	***回	***円	***円	***円
併用返還	併用返還選択時の総支払い額				***円

※返還の方法は、本返還誓約書で選択された「月賦返還」又は「月賦・半年賦併用返還」です。但し、右「印字」の返還方式が「所得連動返還方式」の場合は「月賦・半年賦併用返還」は選択できません。割賦金額等は予定であり、確定した金額は、貸与終了後に通知するものとします。返還回数と割賦金額の計算方法は、「奨学生のしおり」に記載しております。

※前付奨学金の支援対象者が第一種奨学金の貸与を受ける際の借用金額については、裏面「返済誓約書記載事項について」の3を参照してください。

※人的保証は連帯保証人及び保証人による保証を受ける制度、機関保証は保証機関による保証を受ける制度をいいます。

※返済は、奨学金の貸与を受けた者が奨学生として身分を欠いた際には、「借用金額」として貸与した奨学金の借入額を貸与する義務を負わないものとします。未記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む）のために利用されます。

この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関及び受給委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の貸与受給の届出等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

定額返還方式を選択した場合は、必ず月賦返還1又は併用返還2を選択し、チェックボックスに✓を記入してください。

選択した割賦方法は変更できませんので十分検討して✓を記入してください。
なお、所得連動返還方式を選択した場合は月賦返還となりますので、割賦方法選択の必要はありません。

第一部 貸与奨学金に関する制度

第二部 貸与中の手続き

第三部 返還

第四部 お知らせ

第五部 資料

(同一筆跡不可)

※第一種奨学金において、下記は「完済返還方式（貸与額に応じた返還回数で算出された額納金で返還する方式）」又は「所得連動返還方式（所得が所得に連動して算出した額納金で返還する方式）」のうちから、あなたが選択した返還方式が印字されています。
 ※第二種奨学金においては、全て貸与額に応じた返還回数で算出された額納金で返還する方式による返還となります。

【提出用】

⑦〔所得連動返還方式（猶予年限特例）〕※裏面（項番22）参照

※本人が未成年者（18才未満）の場合には、親権者が返還誓約書の記載内容及び債務の状況等を確認し、同意のうえ、所定の欄にそれぞれ署名してください。親権者とは、民法に定められた親権者のことです。親権者がいない場合には、未成年後見人が同様に署名してください。

本人以外の連絡先 ⑧	住所 〒 153 - 8503 東京都目黒区駒場 4-5-29	
	電話番号 03-0000-1111 氏名 (機構 次郎) 署名 機構 次郎	携帯電話番号 090-9999-9999 フリガナ キョウジロウ 印不要
⑨続柄 おじ	昭和 56 年 1 月 1 日生	***
勤務先	電話番号 *****	
*****記入不要*****		
住所 〒 -	*****	
⑩〔誓約日において本人が未成年の場合〕		
親権者 (1)	住所 〒 100 - 0001 東京都新宿区市谷本村町 10-7	
	電話番号 03-0000-0000 氏名 (奨学 一郎) 署名 奨学 一郎	携帯電話番号 090-0000-9999 フリガナ ショウガク イチロウ 印不要
⑨続柄 父	** 年 ** 月 ** 日生	***
勤務先	電話番号 *****	
*****記入不要*****		
親権者 (2)	住所 〒 162 - 8431 東京都新宿区市谷本村町 10-7	
	電話番号 03-0000-0000 氏名 (奨学 春子) 署名 奨学 春子	携帯電話番号 090-9999-0000 フリガナ ショウガク ハルコ 印不要
⑨続柄 母	** 年 ** 月 ** 日生	***
勤務先	電話番号 *****	
*****記入不要*****		
続柄	** 年 ** 月 ** 日生	

添付書類

- ⑪ ・「保証依頼書（兼保証委託契約書）・保証料支払依頼書」（コピー不可）

学校番号	104900	★
区分	00	
学部学科	2006	
学籍No	123456	

(記入上の注意)

- ・黒又は青のボールペンを使って各自が署名・記入してください。ただし、消せるボールペンの使用は認められません。
- ・記入を誤った場合は、誤った部分を二重線で消し、各欄内に正しい事項を記入してください。署名を誤った場合は、フルネームを二重線で消し、再度正しい署名を行ってください。修正をする際、紙貼り、修正液、字消し等を使用すること、なぞり書きをすることは認められません。
- ・印字事項を訂正する場合は、学校へ申し出てください。
- ※訂正方法の詳細は【訂正例】42～43ページを参照してください。

※本ページの返還誓約書（見本）は、奨学生のしおり作成時点のものであります。ご了承ください。

⑦返還方式

- ・奨学金申込み時に選択した返還方式（定額返還方式又は所得連動返還方式）が印字されています。
- ※（猶予年限特例）の印字がある人は、一定の収入・所得を得るまでの間、10年間の制限なく返還期限の猶予を願い出ることができます。

⑧本人以外の連絡先

- ・スカラネットで入力した本人以外の連絡先の人物の情報が印字されています。
- ・卒業後にあなたへ送付する重要な書類が届かないなど連絡が取れない場合に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。
- ・あらかじめ連絡先となる人に役割をよく説明し、承諾を得てください。

⑨続柄

- ・「その他（ ）」と印字されている場合は（ ）の中にあなたとの具体的な続柄を記入してください。

⑩親権者(1)(2)

- ・あなたが未成年の場合は、スカラネットで入力した親権者(1)(2)の情報が印字されています。確認のうえ、親権者が署名してください。

⑪添付書類

- ・必要な添付書類が印字されています。添付もれがないようによく確認してください。申込時にマイナンバー未提出の奨学生本人は、「住民票」と印字されており添付が必要です。

第一部 貸与奨学金に関する制度

第一部 貸与中の手続き

第二部 返還

第四部 お知らせ

第五部 資料